

学校だより 4月号

令和5年4月7日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

## 「2年目の春、新たな始まり」

校長 野口 弘之

4月に入り、街もすっかり春の装いとなり、緑園学園も開校2年目の春を迎えました。7日には、新たな教職員の着任式と全校での始業式、その後、7年生の進級式と1年生の入学式を行いました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは、明るく元気な笑顔で新学年に期待をふくらませているように感じました。保護者、地域の皆様には、昨年の開校以来、様々な場面でご支援、ご協力をいただいておりますが、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年度の始業式の中では、「新たな気持ち」と「思いやりの心」ということを中心にお話ししました。児童生徒の皆さんは、それぞれが上の学年に進級し、新しい学年、新しい学級で新しい仲間たちと1年間、学校生活を送ることになります。学級担任の先生や教科指導をしてくださる先生など、新しい先生との出会いがあります。そこで、皆さんには、新たな年度を、新たな気持ちで、新たなめあてや目標をもって、前に進んでほしいと思っています。アドラーという有名な心理学者は、その基本的な理論の一つに個人の主体性を挙げていますが、彼は、「人は自分の人生を自分で決めることができる。」と表現しています。人間は、生まれながらにして、よりよい方向に進もうとします。しかしながら、時として困難な場面や状況が生じます、そして、それを乗り越えようと努力します。その時に大切なのは、周囲の状況や過去の出来事ではなく、自分自身がこれからどうしたいのか、どう生きたいのかということではないでしょうか。新たな年度の初めは、これからの1年間をどう過ごしたいか考えることのできる絶好の機会です。児童生徒の皆さんには、ぜひ、新たな気持ちで、新たな目標をもって、楽しく有意義な学校生活を送ってほしいと思います。また、全校の児童生徒の皆さんが、楽しい学校生活を送るには、「思いやりの心」が大切であるとお伝えしました。本校の校訓や学校教育目標にもある「協働」の言葉は、同じ目的のために力を合わせて働くという意味ですが、明るく楽しい学校生活は、皆で力を合わせる必要があります。そして、そこにはお互いを思いやる心が大切となります。困っている人がいたら声をかけたり、手伝ってあげたりすること、場面や状況に応じて、他の人にゆずることも必要でしょう。そうした気持ちや心を育んでいきたいと思っています。

これからの令和5年度が、児童生徒の皆さんにとって楽しく有意義な年となるよう、教職員一同、様々な教育活動に取り組んでいきたいと思っています。保護者、地域の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

### 学校教育目標

- 自ら学び、考え、表現し、問題解決する力の育成
- 自他の生命を尊重し、心と体の健康を向上していく力の育成
- 他者と協働し、よりよい生き方を創造する力の育成